

看護師資格取得に 資する科目

小児看護学

DVD
15巻各巻
45分印刷教材
付き

本体価格 285,000+税 ●分売不可

江本 リナ (日本赤十字看護大学教授)

川名 るり (日本赤十字看護大学准教授)

筒井真優美 (日本赤十字看護大学名誉教授)

鈴木真知子 (京都大学大学院教授)

近年の子どもと家族を取り巻く社会は、子どもの貧困、児童虐待、いじめや自殺、災害による子どもの生活変化などの厳しい局面にさらされている。また、小児医療においては、高度医療に伴い子どもの疾病は複雑で重症化し、医療依存度の高い子どもや成人期に持ち越される慢性疾患をわずらう子どもが増加するなどの課題も多い。このような状況にある子どもが、最善の利益が守られ健やかに成長・発達できるよう、個々の発達段階と健康レベルに応じた援助を学び、子どもと家族に対する看護の役割を考える。

1. 小児看護の役割
2. 乳児期の子どもと家族
3. 幼児期の子どもと家族
4. 学童期・思春期の子どもと家族
5. 病気や入院などが子どもと家族に与える影響
6. 急性期症状のある子どもと家族 (1)
7. 急性期症状のある子どもと家族 (2)
8. 先天性疾患のある子どもと家族
9. 手術を受ける子どもと家族
10. 感染症と隔離／活動制限が必要な子どもと家族
11. 慢性期にある子どもと家族／外来における看護
12. 小児がんを患う子どもと家族
13. 子どもの死と家族
14. 障害のある子どもと家族
15. 子どもの事故とその対応



放送大学

THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

2016 DVD教材

放送大学は、放送メディアを使って授業を行う正規の大学です。専任・客員の著名な教授陣により、従来の学問分野の枠にとらわれない多種多様な講義が行われています。この放送大学の講義をより広く大勢の方にご利用いただけるよう、講義の一部をDVD教材としてご紹介しております。図書館や研究室で、また生涯学習の一環として幅広くご利用いただけます。

制作・著作：放送大学

発行：一般財団法人放送大学教育振興会

発売：丸善出版株式会社

新刊

著作権
処理済

貸出可



放送大学 2016 DVD 教材

看護師資格取得に資する科目

小児看護学16

DVD
15巻

各巻
45分

印刷教材
付き

本体価格 285,000+税 ●分売不可

江本 リナ (日本赤十字看護大学教授)
川名 るり (日本赤十字看護大学准教授)
筒井真優美 (日本赤十字看護大学名誉教授)
鈴木真知子 (京都大学大学院教授)

1. 小児看護の役割

近年の社会・医療事情を踏まえ、子どもと家族が置かれている状況を踏まえ、子どもと家族の最善の利益を目指した小児看護の役割を考える。

2. 乳児期の子どもと家族

乳児は生理的適応課程にあり、身体機能が著しく成長・発達しながら栄養・睡眠・排泄のリズムや言語を獲得し、基本的信頼関係を築くという過程にある。そこで、実際の乳児の生活を示す映像を通して、成長・発達の実態、成長・発達を育む家族の役割、子どもと家族への支援について学ぶ。

3. 幼児期の子どもと家族

幼児期は心身の成長・発達が著しく、基本的な生活行動を確立させていく過程にある。運動機能の発達により行動範囲が広がり、認知や言語の発達によりコミュニケーション能力が向上する。そこで、実際の幼児の生活を示す映像を通して、この発達過程と子どもを育むための家族の役割、子どもと家族への支援について学ぶ。

4. 学童期・思春期の子どもと家族

学童期は学校生活を中心として友達との関わりの中で達成感や有能感を獲得していく時期である。また、思春期は身体の劇的な成長や性的な変化を体験し、精神的な動揺の大きい時期であるが、その中で自我同一性を模索し、獲得していく。そこで、実際の学童期・思春期の子どもを生活を示す映像を通して、このような子どもの成長発達の特徴と家族関係の変化について学ぶ。また、それぞれの発達の過程に特徴的な問題行動や逸脱行動について説明し、健康教育について考える。

5. 病気や入院などが子どもと家族に与える影響

病気や入院などが子どもと家族に与える影響は大きく、様々な因子によって変化する。そこで、実際の病棟および外来の映像を通して、病院の環境を考える。また、子どもの発達段階別、入院形態別などによる援助、および面会や付き添いについて学ぶ。

6. 急性期症状のある子どもと家族 (1)

急性期疾患を抱える子どもの場合、症状の悪化を防ぎ、安定した状態になることを目指す。そこで、子どもに多く見られる急性期症状を示す、発熱・嘔吐・下痢・脱水・呼吸困難・けいれん・てんかんを取り上げ、病態、観察ポイント、症状緩和に対する援助、家族への支援を学ぶ。

7. 急性期症状のある子どもと家族 (2)

急性期症状を示す感染症の予防と伝播を防ぐ予防接種、乳幼児突然死症候群、児童虐待を取り上げ、子どもが健やかに育つために必要な子どもと家族への支援を学ぶ。

8. 先天性疾患のある子どもと家族

子どもの先天性の疾患は、成因の違いによって、単一遺伝子病、染色体異常症、多因子遺伝病、そして、外因による先天異常とに分類される。それぞれの代表的な疾患を挙げ、病態、治療、予後、子どもと家族への援助について学ぶ。

9. 手術を受ける子どもと家族

子どもの手術の特徴と手術を必要とする代表的な疾患を挙げ、病態、治療、予後、子どもと家族への援助について学ぶ。また、近年増加している日帰り手術について説明する。

10. 感染症と隔離／活動制限が必要な子どもと家族

小児期特有の感染症の特徴、観察ポイントについて説明し、子ども自身や周囲の人を感染から防ぐための隔離と隔離された子どもへの援助について学ぶ。また、治療・検査のために一時的に体動が制限される場合の子どもへの影響と、子どもと家族への支援について学ぶ。

11. 慢性期にある子どもと家族／外来における看護

慢性疾患を抱えながら学校や幼稚園・保育園に通い、地域で生活している子どもと家族に対して必要とされる継続的な援助について学ぶ。さらに、地域医療を担うクリニックの実際の映像を通して、小児科外来の特徴と看護の役割(日常的な疾患への対応、継続的なケアを必要とする子どもへの援助、健康増進活動)について学ぶ。

12. 小児がんを患う子どもと家族

小児がんの代表的な疾患を取り上げ、小児がんの特徴、病態、治療法、治療によって生じる影響、予後、子どもと家族への援助について学ぶ。また、子どもが体験する痛み、影響する要因、痛みの客観的評価、痛みの緩和への援助について説明する。

13. 子どもの死と家族

死にゆく子どもとその子どもを看取る家族にどのような援助が必要かを考える。死に対する子どもの反応や、他人の死を子どもにどのように伝えるかなど、死をめぐる課題を説明する。また、災害(自然災害及び人為的災害)時の子どもと家族への援助について学ぶ。

14. 障害のある子どもと家族

医療依存度の高い身体障害児とその家族の生活場所に対する意思決定と移行支援、および、子どもが成長発達に応じた通常の生活をするために必要な在宅ケアにおける看護師の役割を説明する。また、発達障害児にも焦点をあて、子どもと家族への支援について説明する。これらについて、在宅ケアの実際や、発達障害トレーニングの様子など、現場の映像や当事者の話を通して学ぶ。

15. 子どもの事故とその対応

不慮の事故は常に乳幼児死亡の原因の上位を占めている。発達段階によって異なる子どもの事故の特徴、虐待との鑑別、事故の予防策について、実際の映像を交えて学ぶ。また、気管内異物、誤飲、溺水、熱傷などの事故に対する救急処置について、実演を交えて学ぶ。そして、子どもが健やかに成長・発達するための看護の役割を改めて考える。

著作権処理済作品

- このDVDは、学校図書館および公共図書館(学校内の視聴覚センターを含む)使用(館内個人視聴、館内無償上映)および学校における授業での使用、国・地方公共団体・非営利法人が設置した博物館・視聴覚教育施設が行う営利を目的としない視聴を提供することが可能です。
- 本商品は上記に加え、学校図書館での学外貸出しおよび、公共図書館での館外貸出しが可能です。
- それ以外の施設での使用に関しましては、お問い合わせ下さい。

発売: **丸善出版株式会社** 映像メディア部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17
神田神保町ビル 6階

Tel : 03-3512-3252 Fax : 03-3512-3271
http://pub.maruzen.co.jp/

お問合せ・ご注文は下記までお願いします。